

令和3年度 都立高入試 配点について

都立高入試の予想得点の算出にあたりまして、弊社が予想いたしました配点をお知らせいたします。

国語 ー記述問題の配点についてー

④〔問5〕200字課題作文

●配点…10点

●採点方法

- 記述問題が200字作文1問だけであるため、採点は複数の先生が行い、互いにチェックする形になると思われます。「○○について××が書かれている。」のような具体的な基準を各校が定め、段階的に点数を設定していると想定されます。

〈内容〉については下記のような配点がされていると思われます。

- 自分の意見、主張があるか…4点
- 筆者の主張を踏まえているか…3点
- 具体的な体験や見聞があるか…3点

これらの項目について不備がある場合は、各配点の範囲で減点されると思われます。ただし、全体として論旨に一貫性のないものは2点減点、本文の抜き出しや要約になっているものは不可(0点)となると思われます。

- さらに、下記のような形式面で、減点されると思われます。

〈表記〉句読点の誤り、誤字、脱字、衍字(=余計な字)などがあるもの…1～2点減点

・最後の一文が途中で終わっているもの…1点減点

・101字以上150字以内のもの…2点減点 ・100字以内または201字以上のもの…不可(0点)

〈言葉の特徴やきまり〉

常体と敬体の不統一／書き言葉としてふさわしくない／語句の意味や用法・文法上の誤りがある 等
…1～2点減点

数学 ー記述問題の配点についてー

●配点…各7点

●採点方法

- 模範例についての予想配点です。各学校によって違いはありますが、部分点があると思われます。

②〔問2〕

1辺の長さが $2a$ cmの正方形の面積は $(2a)^2$ cm²、この正方形の各辺に接する円の面積は πa^2 cm²で、タイルが n^2 枚あるから、

$$\begin{aligned} X &= \{(2a)^2 - \pi a^2\} \times n^2 \\ &= (4a^2 - \pi a^2) \times n^2 \\ &= (4 - \pi) a^2 n^2 \dots\dots\dots (1) \end{aligned}$$

タイルを縦と横に n 枚ずつ並べてできる正方形と同じ大きさの正方形の1辺の長さは $2an$ cm、この正方形の各辺に接する円の半径は an cmであるから、

$$\begin{aligned} Y &= (2an)^2 - \pi \times (an)^2 \\ &= 4a^2 n^2 - \pi a^2 n^2 \\ &= (4 - \pi) a^2 n^2 \dots\dots\dots (2) \end{aligned}$$

(1), (2)より、 $X = Y$

- X, Yのうち、1つが求められていれば2点、2つが求められていれば4点と思われます。X, Yは順不同でもよいと思われます。なお、XとYの求め方にはそれぞれ適宜、部分点が与えられるものと思われます。

- X = Yが成り立つことが的確に示されていれば3点と思われます。

- 誤字・脱字が1か所以上あると、1点減点になると思われます。

④〔問2〕①

仮定から、 $AB = AP$ だから、 $\triangle ABP$ は二等辺三角形である。二等辺三角形の底角は等しいから、

$$\begin{aligned} \angle ABP &= \angle APB \\ \text{よって、} \\ \angle ABP &= \angle QPR \dots\dots\dots (1) \end{aligned}$$

四角形ABCDは長方形だから、 $AB \parallel DC$
平行線の同位角は等しいから、

$$\begin{aligned} \angle ABP &= \angle QRP \dots\dots\dots (2) \\ (1), (2)より \angle QPR &= \angle QRP \end{aligned}$$

よって、 $\triangle QRP$ において、2つの角が等しいから、 $\triangle QRP$ は二等辺三角形である。

- (1), (2)が両方書けていれば4点、(1), (2)の根拠が的確に示されていれば2点になると思われます。

- $\triangle QRP$ が二等辺三角形であることの根拠が的確に示されていれば1点と思われます。

- (1), (2)は順不同でもよいと思われます。

- その他、別解も考えられます。

- 誤字・脱字が1か所以上あると、1点減点になると思われます。

英語 一条件英作文の配点について一

●配点…12点

●採点方法

- ・各学校によって違いはありますが、文法面とともに内容面を重視して採点すると思われます。
- ・今年も、空所の前後につながるように英文3文を記入してメール文を完成させる形式が出題されています。今年の内容は「自分が他人のために、これまでにしたことのあるよい行い」であり、具体的内容を1つ示したあと、それをした理由や関連する内容等を示す文章を続ける解答となると思われます。時制面では過去形だけでなく、現在形や現在完了等、幅広い時制の文が認められると思われます。
- ・学校によっては、つづり字などの表記上の誤りがあれば、各文1～3点の減点があると思われます。ただし、同じ誤りを何回も繰り返したような場合は、全体で何点の減点というような配慮がなされると思われます。

社会 一記述問題の配点について一

●配点…各5点

●採点方法

- ・③〔問3〕〔地域の変容〕について、問題文中に「IとIIの地形図を比較して読み取れる、○で示した地域の変容について、宅地に着目して、」とあるので、IとIIの地形図を見ると、Iの1983年の地形図からは、「○で示した地域に畑があり宅地造成中」であったことが、IIの2009年の地形図からは、「○で示した地域に住宅が造られたこと」がわかります。ここから、「畑や造成中だった土地に、住宅が造られた」ということがわかります。また、〔要因〕について、問題文中に「I～IIIの資料から読み取れる、○で示した地域の変容を支えた要因について、八千代中央駅と東京都(大手町)までの所要時間に着目して」とあるので、IとIIの地形図から、新たに東葉高速鉄道が開通して八千代中央駅が開業したこと、IIIの略年表から、東京都(大手町)までの所要時間が60分から46分に短縮され、乗り換え回数も3回から0回に減ったことで、東京都(大手町)への移動(通勤や通学)が便利になったことがわかります。このことが、宅地造成を進めるにあたって有利に働いたと考えられます。以上のことから〔地域の変容〕として「畑や造成中だった土地に、住宅が造られた」ということを簡潔にまとめ、加えて〔要因〕として「八千代中央駅が開業し、東京都(大手町)までの所要時間が短くなり、移動が便利になった」ということを簡潔にまとめていけば正答となると思われます。
- ・⑤〔問3〕問題文中に「IとIIの資料を活用し、1995年から2014年までの期間と比較した、2015年から2019年までの期間の法律改正数の動きについて、地方分権改革の推進手法と、毎年の法律改正の有無及び毎年の法律改正数に着目して」とあるので、地方分権の改革の推進手法についてIIの文章を見ると、これまでは国が主導する短期集中型の方式であったものが、今後は地方公共団体が考え提案する長期継続型の方式にかわったこと」がわかります。また、法律改正数の動きについてIのグラフを見ると、「1995年から2014年までの期間においては、1999年、2011年、2014年と特定の年に法律改正数が多く、他は2013年を除いて法律改正がまったく見られなかったのに対し、2015年から2019年までの期間は、それ以前よりも法律改正数は減ったものの毎年法律改正が行われていること」がわかります。このことから「国が主導する短期集中型の方式から地方公共団体が考え提案する長期継続型の方式になり、毎年ではなく特定の年に多く見られていた法律改正数は、数は少なくなったものの毎年見られるようになった」ということを、簡潔にまとめていけば正答となると思われます。

理科 一記述問題の配点について一

●配点…⑥〔問2〕：4点

●採点方法

- ・⑥〔問2〕〈結果2〉より、U字型磁石のN極とS極の間に一辺が通るようにコイルAをつるし、コイルAを前後に動かすと、コイルAに電圧が生じます。これは、U字型磁石のつくる磁界の中でコイルAを動かすことによって、コイル内部の磁界が変化し、電磁誘導と呼ばれる現象が起きるからです。よって「コイルAの中」の「磁界が変化する」ということが書かれていれば、正答になると思われます。また、今回の問では『コイルAに電圧が生じる理由を簡単に書け』とのみ問われていますので、「コイルAに電磁誘導が起きるから」でも、正答となる可能性がございます。